

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日		
カンピロバクター	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	15	9	9	4		
病原性大腸菌	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	9	11	17	9		
腸管出血性大腸菌	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	0	0	0		
サルモネラ	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	1	2	1	3		
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	1	1	3	1		
黄色ブドウ球菌 MRSA	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	2	2	1	3		
腸炎ビブリオ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	0	0	0		
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
アデノウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
ノロウイルス	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0		

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第47週(11月18日~11月24日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			1		3		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1		1					
四類	4	つつが虫病	1	1						
		日本紅斑熱	2			1		1		
		レジオネラ症	1					1		
五類	10	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3					1	2	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	6	1	2			3		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり3.83人の報告があり、前週の約1.7倍に増加しました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が5件報告されています。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

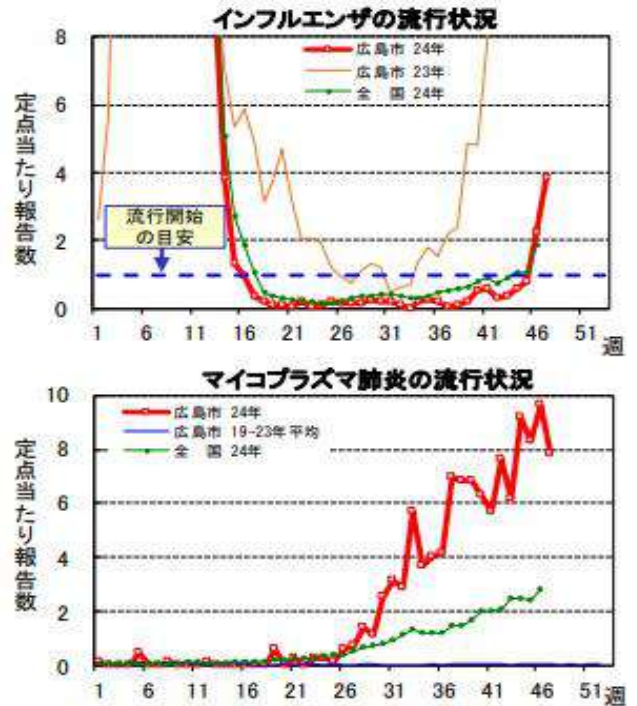
迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第47週 A型:57人、B型:0人

2 マイコプラズマ肺炎

定点当たり7.83人の報告があり、多い状況が続いています。発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などの症状がみられ、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3～4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.58人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
														増減	微増減	
インフル	インフルエンザ	138	3.83	5.82		▲	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.19		○	▲	○	○
	新型コロナウイルス(COVID-19)	21	0.58			○		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.03			○	○	○
小児科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.15			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-			○	○	○
	咽頭結膜熱	9	0.39	1.09				流行性角結膜炎	7	0.88	0.48			○	○	○
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.83	1.36		○	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			○	○	○
	感染性胃腸炎	78	3.39	3.83		○		無菌性髄膜炎	1	0.17	-			○	○	○
	水痘	11	0.48	0.09				マイコプラズマ肺炎	47	7.83	0.03		○	○	○	○
	手足口病	23	1.00	0.79		○		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			○	○	○
	伝染性紅斑	1	0.04	0.08				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			○	○	○
	突発性発しん	2	0.09	0.23										○	○	○
															○	○

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	95	30歳代、70歳代、80歳代
4	レジオネラ症	1	22	50歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	30歳代
5	梅毒	3	152	30歳代、40歳代、60歳代